

# フォレストニュース

植林が地球を救う

平成29年(2017)1月10日

No. 109

発行 高津啓洋

## 2017年謹賀新年



パラグアイ川の新年の朝はどこまでも金色の世界です。パンタナール自体が、起伏の少ないゆったりとした流れの中にあります。寒い朝は温かい川の流れから湯気が霧となって川の表を覆い静かな時に身を任せています。

その霧も、日が昇ると瞬く間に消えて、



ゲンビリアも様々な色合いを醸し出し、真夏の新年に彩を添えてくれます。

ちなみにレダの地においても、7月や8月に淡雪が降ることがあります。正に降っては、一瞬にして、消えゆく雪です。

パンタナールの朝が明けていきます。

皆様、あけましておめでとうございませう。2017年の新年に、皆様方も、荘厳なパンタナールの朝にとどまってみてください。

パンタナールのお正月は、日本とは真逆で、真夏の季節です。ブー

夏は草の生える速度も速く絶えず芝をはじめ草刈りをしていないと一面が雑草やつる草に覆われてしまいます。このつる草が、植樹地域一帯の課題です。3年間水やりと下草刈りは必須です。

写真：パラグアイ川の新年の日出(左上)。ブーゲンビリアの花(右上)。訪問者が第二農場前のニームの成長に喜び(中央)。植樹園の下草刈りは日々(下)。

